

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会第16回「遊水地保全・再生」及び 「人々の交流・教育・普及啓発」検討合同部会 議事要旨

日 時：平成31年3月6日（水） 15時15分～16時45分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館 2階大会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：30団体中18団体（26名）

オブザーバー：4団体中0団体

<議事要旨>

- ・第15回に続き「遊水地保全・再生検討部会」と「人々の交流・教育・普及啓発検討部会」の合同部会②として進めていく。事務局は小山市が務める。
- ・小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課 武田主事が司会進行。

1. 開会

- ・司会より開会の辞

2. 挨拶

【部会長】

- ・今回でこれまで協議してきたパンフレットの完成となる。各団体の紹介とイベント情報が一挙に見られる素晴らしいものである。
- ・昨年は、渡良瀬遊水地に関する教材、外来種に関するチラシを作成し、協議会としての成果となっている。
- ・構成団体皆様のご出席・ご協力があったのお陰である。
- ・本日も忌憚のないご意見をいただき、活発な議論をお願いしたい。

3. 議題

具体的テーマについて

「野鳥の生息環境の保全」と「普及啓発のための人材育成」の2テーマについて協議を進めていく。

○作成パンフレットの確認と完成

前回の合同部会での検討結果等を可能な限りパンフレット（案）に反映した。内容を確認していただき、微修正をして完成版とする。

パンフレットの微修正について出た意見

表面

- ・パンフレットの題名について、文字サイズを若干小さくすることである程度スペースを作った方が良い。また、条約湿地に登録された直後であれば、「ラムサール条約湿地登録」が良いと思うが、登録されて何年も経っているので、「登録」は削除して「ラムサール条約湿地」が妥当である。
- ・裏表紙の発行年月は、次年度の協議会後に印刷となるので、4月から7月に修正する。
- ・コウノトリの紹介ページについて、好みではあるが、文字サイズを小さいものに合わせるほど

- うか。スペースを出して、文字ばかりというイメージをではないようにした方が良い。
- ・写真のクレジットについて、「撮影」と「提供」の2種類があるので、「撮影」で統一。
- ・団体の紹介文は、ですます調で統一。
- ・団体の紹介文がある団体については、団体名の前の「・」は削除して良いのでは。
- ・「大型鳥採、餌休息実験地」→「大型鳥採餌休息実験地」

裏面

- ・主要な施設として、「体験活動センターわたらせ」「野鳥観察台」「野木ホフマン館」を追加。
- ・「野木町きらら館」→「野木町きり館」
- ・「注意」「アクセス方法」の欄に不要な空白スペースがあるので削除。
- ・ヨシ焼きに関するツアーや観察会は同じ項目にまとめる。栃木市でイベントを追加。
- ・「渡良瀬遊水地探鳥会※1, 4, 7, 11月」→「渡良瀬遊水地探鳥会※1, 4, 8, 11月」
- ・「ヨシ焼き観察会」の説明文「小山市役所から」という文言について検討が必要ではないか。

○渡良瀬遊水地イベントシールラリー事業について

作成しているパンフレット裏面のイベント情報とおして、構成団体と連携した事業として、シールラリーの実施を検討中。

資料をもとに概要を説明。

各団体より対象事業とするイベントの調査や実際にイベントでのシール配布等、ご協力をいただくことになる。

- ・イベントの選出にあたり条件はあるか
→パンフレットとの連動を図るため、基本的にパンフレットに載っているイベントの選出となる。その他、各団体で、多くの方を呼び込みたいイベント等を選出していただくようになる予定。
- ・窓口等を設けることになるのか
→シールを台紙に貼りつけて、担当自治体に提出、または、台紙をはがきに貼りつけて郵送していただくと考えている。
- ・イベントごとにシールを用意するのか
→現段階では、各市町のゆるキャラのシール6種類と渡良瀬遊水地ロゴマーク1種類、計7種類で検討している。
- ・シール獲得に不正行為が出るのでは
→そこまでしてプラチナカードを獲得したいと人気が出ればよいが、そこら辺も含めてまだまだ内容が確定していないので、今後、事務局会議・幹事会において、内容をつめていく。

○「普及啓発のための人材育成」というテーマについて、構成団体よりご発言

- ・渡良瀬遊水地の関するガイドをしている団体がいくつかある。その中で、それぞれのガイドの交流を図りながら、お互いのガイド観を理解し合っていく必要がある。すぐに何かをするというのは難しいが、今後考えていければよい。
→貴重なご意見として、今後検討できればと思う。

○合同部会② 構成団体 紹介

構成団体の紹介について、時間の都合により割愛。

4. 情報交換

- ・ 3, 4日前に、人為攪乱型実験地の周辺を歩いていたら、すぐ近くにコウノトリがいることに気がついたので、驚かせないように離れていったが、コウノトリが後を追っかけてきた。コウノトリが近くにいることに気が付いてから、離れる行為をとっても遅い。そのため、特に今の時期は、看板等で「コウノトリが近くで巣作りをしているため近づかない」といったことをお知らせする必要があるのではないか。また、ゲート内のダンプ等が利用する道路でも観察はしていいのか。
→看板を立てても良いのではないか。近くで観察したい者と離れて観察してほしい者の意見の間をとったところに看板を設置するのが効果的ではないか。ゲート内の道路で観察することは自由使用の範囲である。

5. その他

6. 閉会

- ・ 司会より閉会の辞